

# 進路だより

令和5年9月20日  
都立中野特別支援学校  
第3号  
校長 和田 慎也  
担当 湊 友里

夏季休業中に進路指導部の主催で、教員向けの研修を行いました。今回は、4年ぶりに事業所見学会を実施することができました。また、今年度初めて本校教職員及び杉並区立済美養護学校教職員、しいの木特別支援学校教職員の参加による合同研修会を実施いたしました。

事業所見学では、あすなろ作業所、SAKURA 杉並センター、AKKODiS ビジネスサポート株式会社を訪問させていただき、施設内の見学や指導員の方々の関わり方などを教えていただきました。また、合同研修会では、特別支援学校高等部の進路決定までの流れや施設利用調整における現場の声を本校進路専任、杉並区保健福祉部障害者生活支援課、杉並区立すぎのき生活園の方よりそれぞれお話をいただきました。高等部卒業時まで身に付けるべき力を育む教育活動や進路指導を考える機会となりました。地域の特別支援学校間で共通理解を図り、学校卒業後の進路選択の幅を広げるために役立て参ります。

今年度、12月と3月には、進路指導部主催の保護者向け研修を予定しております。研修会の詳細が決まりましたら、お知らせいたします。ぜひ御参加ください。

## ○教員研修（事業所見学）

### ★あすなろ作業所

就労継続支援B型と生活介護事業がある多機能型の施設で杉並区の南に位置しており、世田谷区、中野区、渋谷区と隣接しているため杉並区以外から通所されている方も多いため、本校の生徒の現場実習の受け入れをしてくださっており、実際に本校卒業後に通所している方も多くいるため、見学の際は卒業生が笑顔で元気に働いている姿を見る事ができました。施設の現状を伺う中で、どこの施設でも人材不足が問題になっており、「皆（誰とでも）と一緒に活動できる」こと、「一人でも自立課題に取り組める」、「休み時間等に一人で過ごせる（待てる）こと」が改めて重要な課題だと感じました。

（高等部1年担任：宮田 一恵）

### ★SAKURA 杉並センター

本センターは杉並区にある就労移行支援事業所です。利用者は自分のペースで通所することができ、マナー研修やパソコン研修、就労研修などを通して、就労に必要な素養や働き続けるための力を習得します。また、夏季休業中に就労アセスメントを行う高等部2年生もいます。

見学した際は、文書作成ソフトを使った暑中見舞い作成が行われていました。集中して入力作業に取り組み、丁寧な言葉遣いで質問する真剣な様子に、感銘を受けました。社会参加に向けたカリキュラムや定着支援のノウハウは本校の進路指導にも生かすことができると感じました。

（中学部2年担任：朝枝 貴政）

### ★AKKODiS ビジネスサポート株式会社

都心の駅近のビルで、10階の窓のすぐ下には目の前を走る山手線やモノレールが見えました。本校卒業生も採用されており立派に職務に励んでいる姿を目にすることができました。採用担当者の方の「当社では17年前からずっと、重度の知的障害のある方が多く働いている。仕事に関しては、初めてのことで慣れれば全員一通りスキルアップできる。難しいのは、一人の大人として身だしなみの清潔感やマナー、仲間との協調性、感謝の言葉を自分の励みにできるかどうかや、電車やバスを使った一人通勤ができるかなど、生活上のスキルの方である。就業を継続するために、この生活上のスキルが必要である。小さなころからの積み重ねが大切である。」とのお話が印象的でした。

（小学部1年担任：渡邊 悠子）

# ○教員研修（3校合同研修会）

## 特別支援学校におけるキャリア教育（合同研修会資料など抜粋）

### ・勤労観と職業観の育成

**勤労観をはぐくむ②**

・自分でできることを増やす

食べる 着替え コミュニケーション トイレ 手洗い

実は…すでに指導していることがたくさんあります！！

**公共交通機関の利用に慣れておくと…**

電車やバスで1本！ 電車やバスを乗り換えて！

自宅から歩いて！

将来の進路先の幅が広がる！！

～自分のことは自分でできるようにする～  
 学校と家庭が協力しながら、  
 ADLの自立を目指す。

**勤労観をはぐくむ③**

・自分の役割を果たす

「人の役に立った」 「人から感謝された」 「人から求められた」

自己肯定感 自己有用感

クラスの係仕事

実は…すでに指導していることがたくさんあります！！

**勤労観をはぐくむ②**

・自分でできることを増やす (例)

- ・着替えができる。
- ・折り紙が折れる。
- ・マスクができる。
- ・トイレの後、手を洗える。
- ・はさみが使える。
- ・カッターナイフが使える。
- ・セロハンテープが貼れる。
- ・段ボールがたためる。
- ・荷物を大きく広げずに着替えができる。
- ・わからないことは、質問ができる。
- ・体調不良を伝えられる。
- ・電話ができる。
- ・メールができる。
- ・交通ルールが守れる。
- ・公共交通機関が利用できる。
- ・一人で待たせられる。
- ・お留守番ができる。

～いつでも どこでも だれとでも～  
 いろいろな人と関わりをもち、  
 支援を受けられるようになる。

**職業観をはぐくむ①**

・世の中の仕事や先輩の進路先を知る

・進路希望先で体験する

〈小・中学部〉就業体験 〈高等部〉職場見学

〈高等部〉現場実習

**職業観をはぐくむ②**

・実際に働く力を身に付ける

毎日の授業 作業学習

～コミュニケーション力を高める～  
 意思表示、困っていることを伝える力

～決められた時間、落ち着いて過ごせる～  
 休み時間、落ち着いて過ごせる方法も大切

**学校卒業後の進路を見据えて**  
 社会情勢と進路先の状況・進路先から求められることなど、指導する大人が「知っていること」が大事

## ○初任者による課題別研修

### ★弥生福祉作業所

生活介護、就労継続支援B型、就労移行支援といった障害のある方の幅広いニーズに対応した施設です。受注作業を中心に、パッキング、新聞の折り込み、封筒への封入及び宛名貼りなどがあり、得意なことを生かして割り当てられた作業に皆さん集中して取り組まれていました。スタッフの方々はとても熱意のある方たちで、どうすれば難しそうに見える作業でも「確実に」、そして「達成感」をもって取り組めるかを考えていらっしゃいました。「スモールステップ」、そして、「自己肯定感を高められる」ということを意識して、私自身も日々の教育活動に取り組みたいです。（小学部2年担任：増田 祐規）

### ★済美職業実習所

済美養護学校の前身である済美学園卒業生の保護者や教員の方々が力を合わせて作った施設だそうです。1960年より運営され創設以来「働く」ことが活動の中心であり、受注作業を中心にダイレクトメールの封入やボールペンの組み立て、米の精米販売や近隣学校給食へのジャガイモ販売も行っています。今回は利用者の方と一緒にダイレクトメールの封入をしました。皆さん集中して作業に取り組まれていて、仕事を楽しみにされているようでした。他にも行事としてお祭りや日帰り旅行もあり、モチベーションになっている利用者の方も多かったです。（高等部1年担任：落合 鮎香）

### ★花王ピオニー株式会社

見学して最も感銘を受けたことは、企業の障害者雇用への理解と手厚い支援体制です。敷地内にピオニー専用の建物があり、スタッフの方々はその中で勤務していました。完全週休2日制（土日祝休み）で、毎日異なる製品のパッキングを流れ作業で行っていました。スタッフの方々には責任感が強く、自分の仕事に誇りを持っていました。約1～2年の契約社員としての期間を経て正式に採用された社員の方は、給与・福利厚生も充実しており、休日に趣味を充実させている様子でした。支援スタッフの方が重視することは、「挨拶ができる」「無断欠勤・遅刻をしない」この2つのみです。気持ちの良い挨拶、私自身も心がけていきたいと思います。（小学部1年担任 福田 龍平）

### ★株式会社テイクアンドグヴ・ニーズ

2007年から重度の知的障害者雇用に取り組んでいる企業にお伺いしました。都内の結婚式場の清掃業務及び調理業務、本社サポート業務を行う者が現在28名いらっしゃいます。今回、清掃業務の様子を拝見させていただきました。一番に感じたのは「風通しの良さ」でした。清掃を行っている方々が生き生きと自分の業務を全うしていました。お客様が館内を見学していると、障害者雇用リーダーを軸に従業員全員が手を止め、元気よく挨拶を交わします。働きやすい職場環境であること日常業務以外の経験や学びの機会があることが、定着率95%超と高い数字を出していると感じました。（高等部2年担任：小暮 亮介）

## ○ミニ情報

### ★最低賃金の引き上げ

すでに、ニュース等で御存知の方もいらっしゃるかと思いますが、10月より最低賃金が改定されます。東京都では、10月1日より**時間給1,113円**となり**41円引き上げ**となります。以前より政府は、「全国平均1,000円以上」を目標にしており、今回の改定で「全国平均1,004円」となったことから、目標が達成されたこととなります。最低賃金が上がることは労働者にとっては良い話ですが、賃金を支払う側の雇用者にとっては厳しい話となります。業界によっては、少ない労働者で仕事をするシステムが構築されるだけでなく、障害のある方といえども一労働者として期待され、あらゆる技量や能力が求められるかもしれません。障害のある方の企業就労を叶えるために、こうした企業ニーズを知っておくことも大切です。

（進路指導専任：田邊 大樹）